坂の上通信

平成二十九年四月十九日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文芸部（四〇三演習室）

7名の先生が着任

今年から採用の先生も

新制服に身をつつんだ一年生、そして新しく来られた先生方を加えて、平成29年度の美高がスタートした。新聞文芸部では、今年度からお世話になる七名の先生方にインタビューを行った。（紙面の都合上、講師の先生および昨年度から継続して勤務しておられる先生は、割愛させていただきました）

【インタビュー内容】
①担当教科
②担当される部活動
③前任校
④あなたは馬・牛・犬・虎・猫の五種類の動物を連れて旅をしています。ところが、これらの動物を手放さなくてはならなくなりました。どの順番で手放していきますか？
⑤高校時代の思い出
⑥美高生に一言

正木　勝治　先生

①数学科
②サッカー部
③沼田高校
④猫を1番に手放します。あとは牛、虎、犬の順番で手放し、馬は最後まで残します。
⑤柴田先生に数学を教わったこと。
⑥「大きな夢」と「高い目標」を持って頑張ってください。

宮崎　浩文　先生

①国語科
②男子バレー部
③広島市立商業高校
④虎を1番に手放します。あとは牛、馬、犬の順番で手放し、猫は最後まで残します。
⑤恋愛をしたこと
⑥一緒に頑張りましょう。

伊東　祐一郎　先生

①英語科
②男子バスケット部
③舟入高校
④猫を1番に手放します。あとは虎、牛、馬の順番で手放し、犬は最後まで残します。
⑤仲間と四国にサイクリングをしに行ったことです。
⑥よろしく哀愁

質問④は心理テストで、5種類の動物は「大事なもの」を表しています。その人にとって優先順位が低いものから手放していきます。馬は仕事、犬は友人、牛はお金や財産、虎はプライド、猫は恋人を意味しているそうです。お遊びですので、本気にされませんように。

土岸　智子　先生

①英語科
②バレー部
③市工高校
④牛を1番に手放します。あとは虎、馬、犬の順番で手放し、猫は最後まで残します。
⑤修学旅行で沖縄に行ったことです。沖縄の海が綺麗だったのを覚えています。
⑥一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

永福　永伍　先生

①世界史
②サッカー部
③新任
④虎を1番に手放します。あとは猫、牛、犬の順番で手放し、馬は最後まで残します。
⑤韓国へ修学旅行。唐辛子が入ったご飯を食べてお腹をこわしてしまったのが思い出です。
⑥迷惑をかけることがあると思いますが、よろしくお願いします。

生徒会選挙　立候補者を受付中

4月14日から20日は生徒会役員の立候補期間である。現在、生徒会は新しく生徒会役員を務めてくれる人を募るためにポスターを作ったり、個別に声かけを行ったりしている。

新聞文芸部では、現生徒会長の山崎君に話を聞いた。

生徒会の仕事は、文化委員長や体育委員長など、その役職によって異なるが、共通して言えることは、学校行事を先生と協力して企画し、それを生徒に伝え、運営を行うことだ。

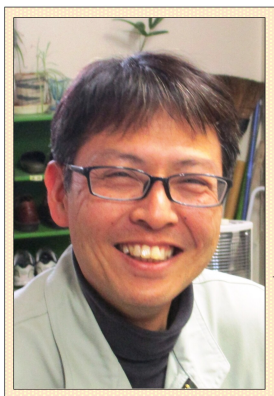
生徒会が求める人材は、責任感が強く協調性があり、勉学と部活が両立できる人。そして何よりも物事に臨機応変に対応できる人だそうだ。

「生徒会と聞くと堅いイメージかもしれないけど、アットホームな雰囲気で楽しく活動しているので気軽に生徒会へ来てください」と生徒会長は語った。

平尾　晴也　先生

①音楽
②吹奏楽部
③安佐北高校
④犬を1番に手放します。あとは猫、牛、虎の順番で手放し、馬は最後まで残します。
⑤沖縄に修学旅行に行ったことです。水族館で見たイルカショーが思い出に残っています。
⑥でっかい夢を持っていっぱい努力してください。

轟　元暢　先生



①技術指導員
②ありません
③似島小学校
④虎を1番に手放します。あとは猫、牛、犬の順番で手放し、馬は最後まで残します。
⑤音楽部に所属し、トロンボーンやコントラバスを担当していました。全国レベルだったのでしごかれました。
⑥没頭できるものを見つけてください。

美・鈴・鈴・鈴

新年度がやってきた。新制服の一年生も入ってきて、美高にも新たな風が吹き始める ▼年度と言えば四月始まりが通例であるが、なぜ四月なのか。新年を迎える一月がスタートでも良さそうなものだが ▼年度始まりが四月と定められたのは、明治時代だ。一説によると、当時の税金収入源は米だったが、秋に収穫した米を農家が現金に換えて納税し、それから予算編成をしていくと、一月では間に合わないという事情があったという ▼また「学校年度」も日本では四月始まりとなっているが、こちらも各国と比べてみるとむしろ少数派のようだ。アメリカやロシア、中国、イギリスでも、学校は九月から始まる ▼一部の大学で秋季入学を取り入れるという話題もあったが、やはり米作りが始まる四月、出会いと別れの象徴としての桜が咲く四月にスタートするというのが、日本人の感性に合っているのかもしれない。

（増長暁）

編集後記

新入生も入り、各部とも新たな雰囲気に包まれている。とてもいいことだが、勉学のことも忘れないように。